

現状・課題

- 糖尿病死亡率ワースト1
- 高齢化の進行(2020年高齢者人口ピーク)により要介護者増加
- 医師の地域偏在及び診療科偏在
- 南海トラフ巨大地震による災害関連死が想定

本県の強み

- 世界レベルの糖尿病研究開発臨床拠点を旨とした研究開発が進行
- 介護保険施設の高い整備率
- リチウム電池の生産拠点や新素材のCFRPで優れた技術の企業が存在
- 全国有数のブロードバンド環境

糖尿病の克服

- 罹患を未然に防ぐ「予防」の取組を加速
- 「重症化抑制」に焦点を絞った研究開発・事業化を推進



阿波踊り体操 ヘルシーレシピ

介護負担の軽減

- 本県のものづくり技術や充実した介護保険施設を活用し、介護ロボットの開発・導入を促進



介護ロボット

地域医療(介護)の連携

- ICTを活用した地域医療連携システムの構築
- マイナンバーとの接続を視野に入れたシステム構築の検討



スマホを活用した遠隔医療診断支援システム

災害医療活動の高度化

- 多重化した通信手段の確保
- 医療や防災関係機関間の情報共有機能の向上
- 被災者の医療情報を把握できるシステムの検討



災害時情報共有システム

若者の関心度アップ

- 若者を対象に、科学技術を活用した先端医療や介護ロボットなどの見学・体験の実施

新たな発見!

医療・福祉のイメージUP!!

取組の方向性

具体的取組項目

- 「運動」と「食生活」両面からの健康づくりを実践
- 「地域イノベーション戦略支援プログラム」により産学官金連携した重症化抑制の取組推進

- 産学官のコンソーシアム設置等により、介護ロボットの開発・実証・実用化を推進
- 本県の介護現場をテストベッドとして積極活用

- 汎用性があり持続可能かつ有用な県内統一システムの構築
- 在宅医療連携拠点事業のマイナンバー接続を視野に入れたシステム構築を検討

- 災害時の状況認識の統一を実現するGISを活用した「災害時情報共有システム」の機能強化

- 高度急性期病院における最先端治療の見学
- 介護ロボットの体験学習の実施



高校生の最先端治療見学

科学技術を活用した取組により、県民の健康増進・生活の質の向上の実現